仕　様　書

1　件　　名　　北部放課後児童クラブほか２か所空調機備品の購入

2　規　　格・数　量

(1)北部放課後児童クラブ

ア　タイプ　　天井吊形ペア空調機
イ　能　力　　冷房能力 7.1kW　暖房能力 8.0kW
ウ　電　源　　三相　200V
エ　参考型式　SZRH80BYT
オ　数　量　　2 組

(2)八ケ崎第二放課後児童クラブ

ア　タイプ　　天井吊形ペア空調機
イ　能　力　　冷房能力 7.1kW　暖房能力 8.0kW
ウ　電　源　　三相　200V
エ　参考型式　SZRH80BYT
オ　数　量　　2 組

(3)放課後ＫＩＤＳルーム六実

ア　タイプ　　天井吊形ペア空調機
イ　能　力　　冷房能力 10.0kW　暖房能力 11.2kW
ウ　電　源　　三相　200V
エ　参考型式　SZRH112BY
オ　数　量　　2 組

3　納入場所

(1)北部放課後児童クラブ（松戸市根本 217 番地）
※松戸市立北部小学校　1 階　放課後児童クラブ分室

(2) 八ケ崎第二放課後児童クラブ（松戸市八ケ崎三丁目 3 番地の 1）
※松戸市立八ケ崎第二小学校　1 階　多目的室

(3) 放課後ＫＩＤＳルーム六実（松戸市六高台四丁目 131 番地）
※松戸市立六実小学校　3 階　図書室

4　履行期間　令和 7 年 7 月 18 日（金）

5　設置場所　別紙図面参照

6　そ の 他　グリーン購入法の判断基準に適合している商品であること。

なお、参考型式以外を納入する際は、事前に同等品確認書による承認を受けること。

※留意事項　・同等品確認書を提出のこと。

・その他は別紙「空気調和設備納入に係る注意事項」による。

・空調用電源については、現在電気工事が行われており、令和７年６月６日から使用可能となる予定。

・作業日時は、各小学校や放課後児童クラブ、放課後ＫＩＤＳルームに支障のないように関係機関と調整し決定すること。

・交換設置作業、既設機器撤去処分、ドレン管及び冷媒管撤去交換作業、配電盤改修配線作業、試運転調整作業を含む。

・その他は別紙「空気調和設備納入に係る注意事項」による。

（１）北部放課後児童クラブ
１階放課後児童クラブ分室

事　業　概　要

１．１階放課後児童クラブ分室に図示のとおり空気調和設備を設置する。

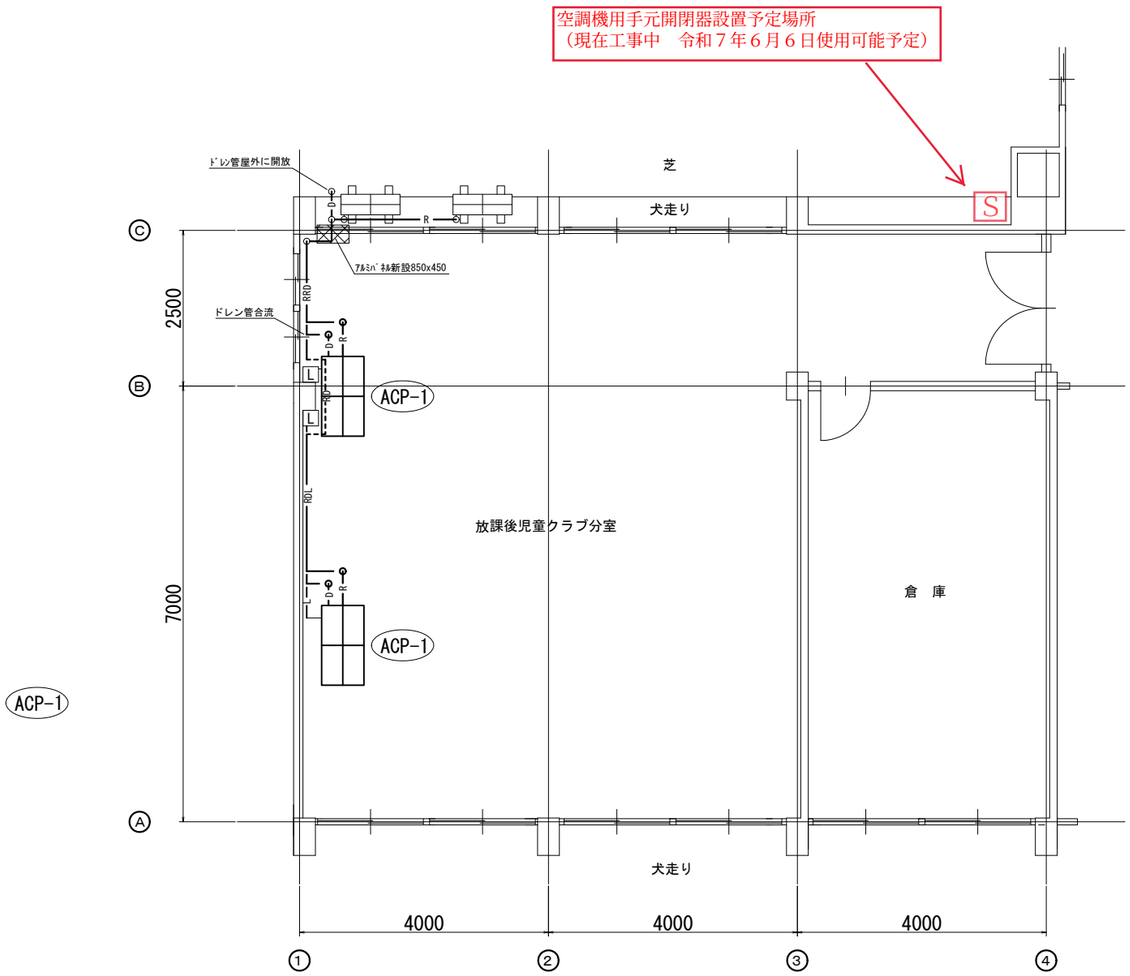
凡　例

記　　号	名　　称	仕　様　・　材　質　・　規　格
——R——	冷媒管	断熱材被覆銅管　φ9.5×φ15.9
——D——	ドレン管	屋内：保温材内封形　φ20 屋外：カラーVP　φ20
L	リモコン	メタルモール スイッチボックス(2個用・浅型)共
—— L ——	リモコン線	EM-HP 0.9mm-2C(MA)
	貫通処理	アルミパネル貫通、補修

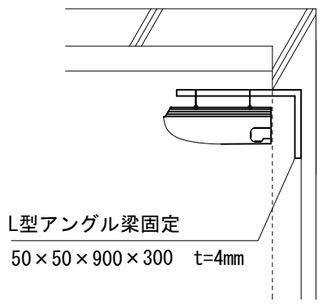
機　器　表(新設)

記 号	名　称	設　置　場　所	規格　・　仕様	電源	数量	圧縮機出力kW	備　考
ACP-1	パッケージ形 空気調和機	1階 放課後児童クラブ分室	天井吊型　ペア 冷房能力7.1kW 暖房能力8.0kW ワイヤードリモコン　R32 室内外機固定ブロック	3相 200V	2	1.7	SZRH80BYT

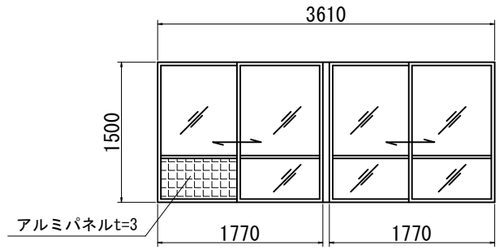
＜特記＞　室内外機間の連結線は冷媒管共巻きとし、使用するメーカーの仕様に準ずること。



１階平面図　S = 1 : 100



室内機設置要領

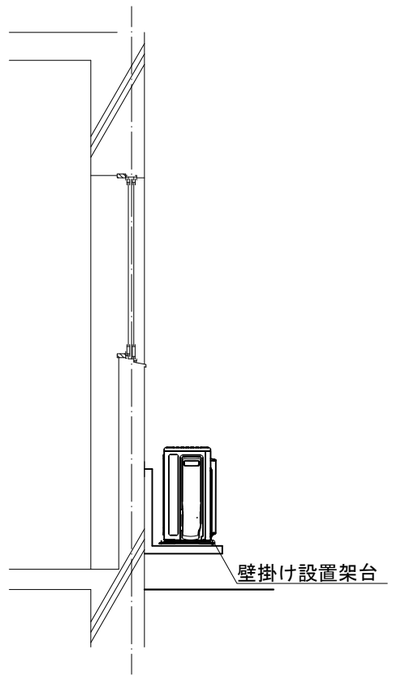


1　硝子の貫通部分をアルミパネルにする。

2. 開閉はストッパー付きとする。

3. 既設の硝子枠を使用する。

建具概略図



室外機設置要領

件　名	北部放課後児童クラブほか２か所空調機備品の購入		
図面名			
作成年月日		変更年月日	
縮尺	1 : 100 No　scale	図面番号	

（２）八ケ崎第二放課後児童クラブ
１階多目的室

事　業　概　要

１．1階多目的室に図示のとおり空気調和設備を設置する。

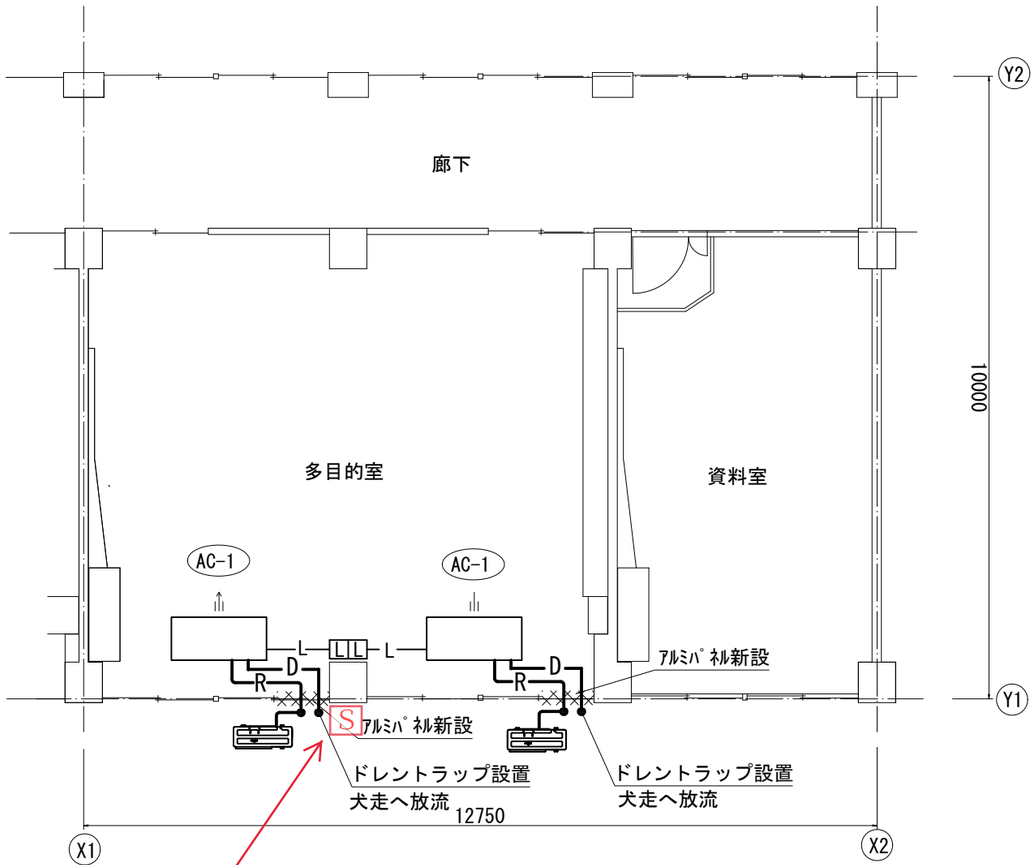
凡　例

記　　号	名　　称	仕　様　・　材　質　・　規　格
——R——	冷媒管	断熱材被覆銅管　φ9.5×φ15.9
——D——	ドレン管	屋内：保温材内封形　φ20 屋外：カラーVP　φ20
L	リモコン	メタルモール スイッチボックス(2個用・浅型)共
—— L ——	リモコン線	EM-HP 0.9mm-2C(MA)
	貫通処理	アルミパネル貫通
	撤去範囲	

機　器　表(新設)

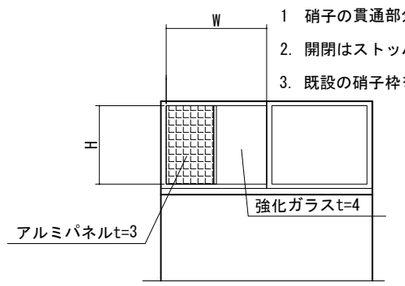
記 号	名　称	設　置　場　所	規格 ・ 仕様	電源	数量	圧縮機出力 kW	備　考
AC-1	パッケージ形 空気調和機	1階多目的室	天井吊型　ペア 冷房能力7.1kW 暖房能力8.0kW ワイヤードリモコン　R32 室内外機固定ブロック、振止め	3相 200V	2	1.7	SZRH80BYT

＜特記＞　室内外機間の連結線は冷媒管共巻きとし、使用するメーカーの仕様に準ずること。



空調機用手元開閉器設置予定場所
（現在工事中　令和７年６月６日使用可能予定）

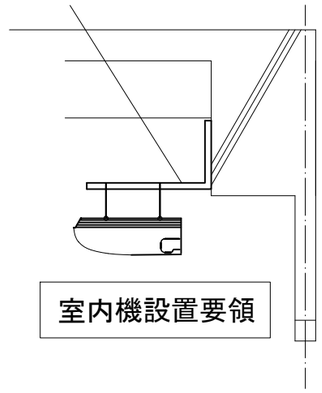
1階平面図　　S=１:100



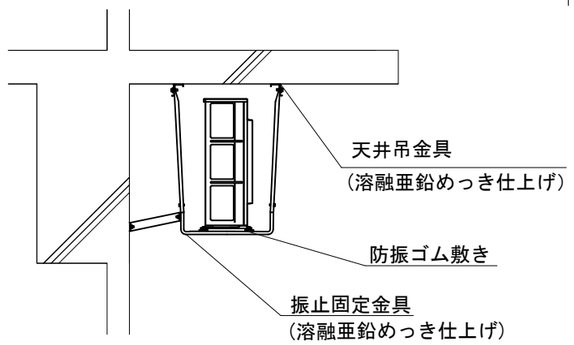
1　硝子の貫通部分をアルミパネルにする。
2.　開閉はストッパー付きとする。
3.　既設の硝子枠を使用する。

建具概略図

L型アングル梁固定
50×50×700×300　t=4mm



室内機設置要領



室外機設置要領図

件　名	北部放課後児童クラブほか２か所空調機備品の購入		
図面名			
作成年月日		変更年月日	
縮尺	1 : 100 No　scale	図面番号	

（３）放課後ＫＩＤＳルーム六実 ３階図書室

事　業　概　要

１．3階図書室に図示のとおり空気調和設備を設置する。

凡　例

記　　号	名　　称	仕　様　・　材　質　・　規　格
——R——	冷媒管	断熱材被覆銅管　φ9.5×φ15.9
——D——	ドレン管	屋内：保温材内封形　φ20 屋外：カラーVP　φ20
L	リモコン	メタルモール スイッチボックス(2個用・浅型)共
—— L ——	リモコン線	EM-HP 0.9mm-2C(MA)
	貫通処理	アルミパネル貫通、補修
	撤去範囲	
	仮設足場	

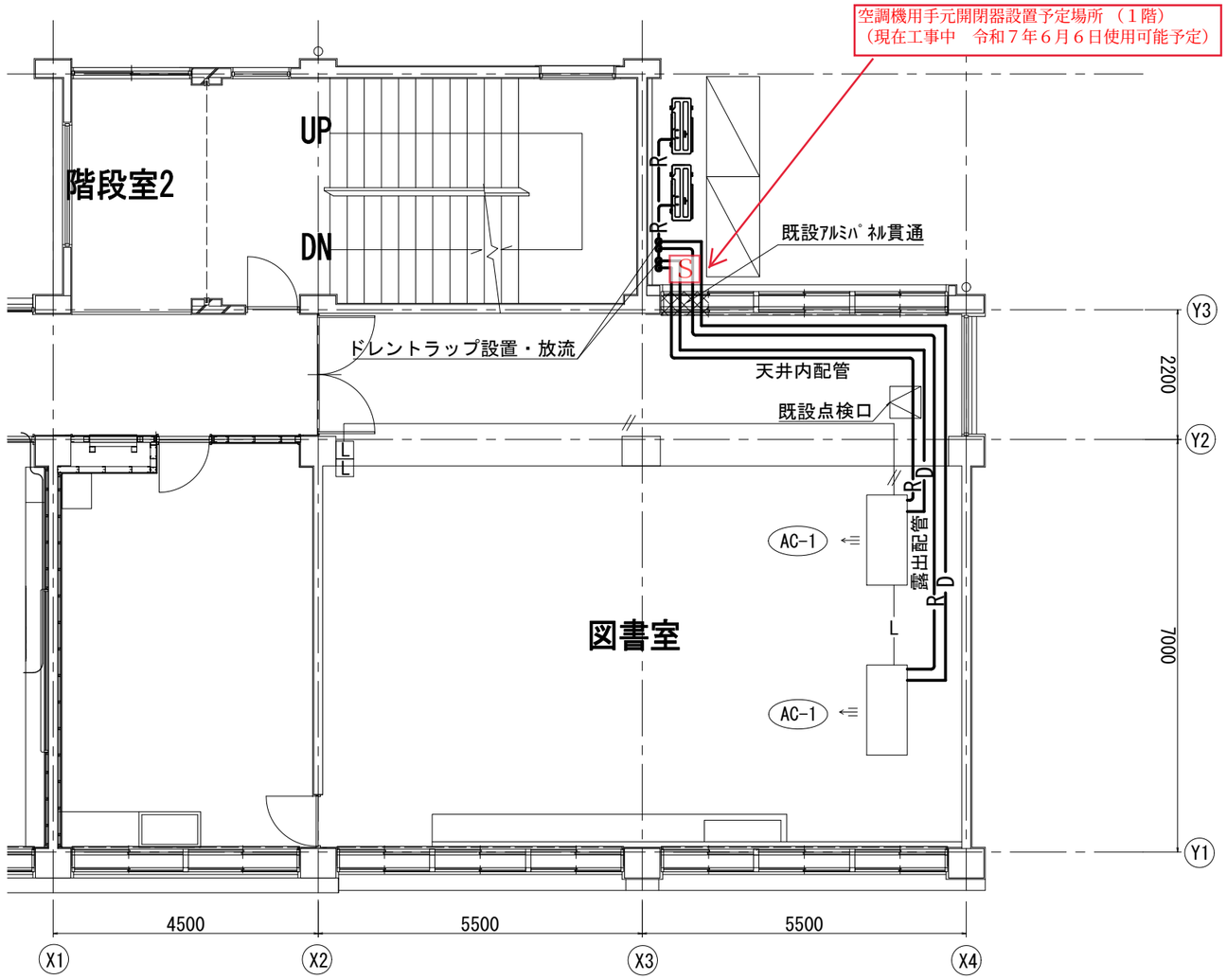
機　器　表(新設)

記 号	名　称	設　置　場　所	規格 ・ 仕様	電源	数量	圧縮機出力 kW	備　考
AC-1	パッケージ形 空気調和機	3階図書室	天井吊型　ペア 冷房能力10.0kW 暖房能力11.2kW ワイヤードリモコン　R32 室内外機固定ブロック	3相 200V	2	1.95	SZRH112BY

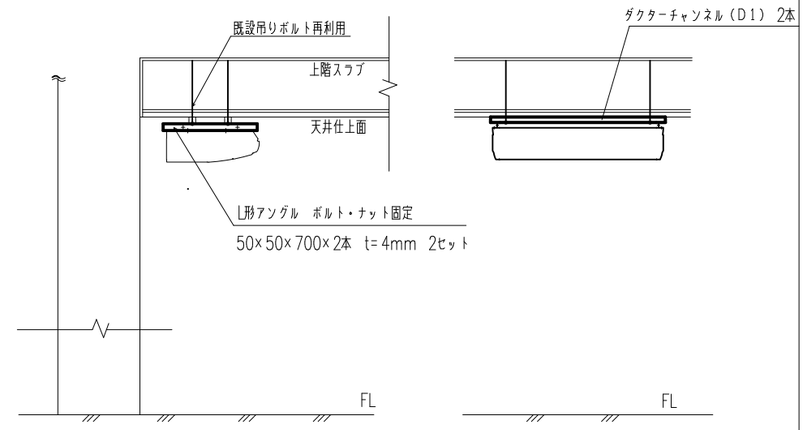
＜特記＞　室内外機間の連結線は冷媒管共巻きとし、使用するメーカーの仕様に準ずること。

機　器　表(既設)

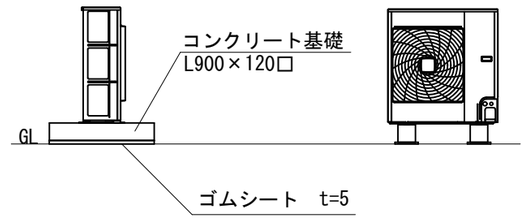
記 号	名　称	設　置　場　所	規格 ・ 仕様	電源	数量	圧縮機出力 kW	備　考
AC-11	空冷ヒートポンプ式 パッケージエアコン	3階図書室	天井吊型　ペア 冷房能力7.1kW 暖房能力8.0kW ワイヤードリモコン　R410A	単相 200V	2		



3階平面図(改修)　S=１:100

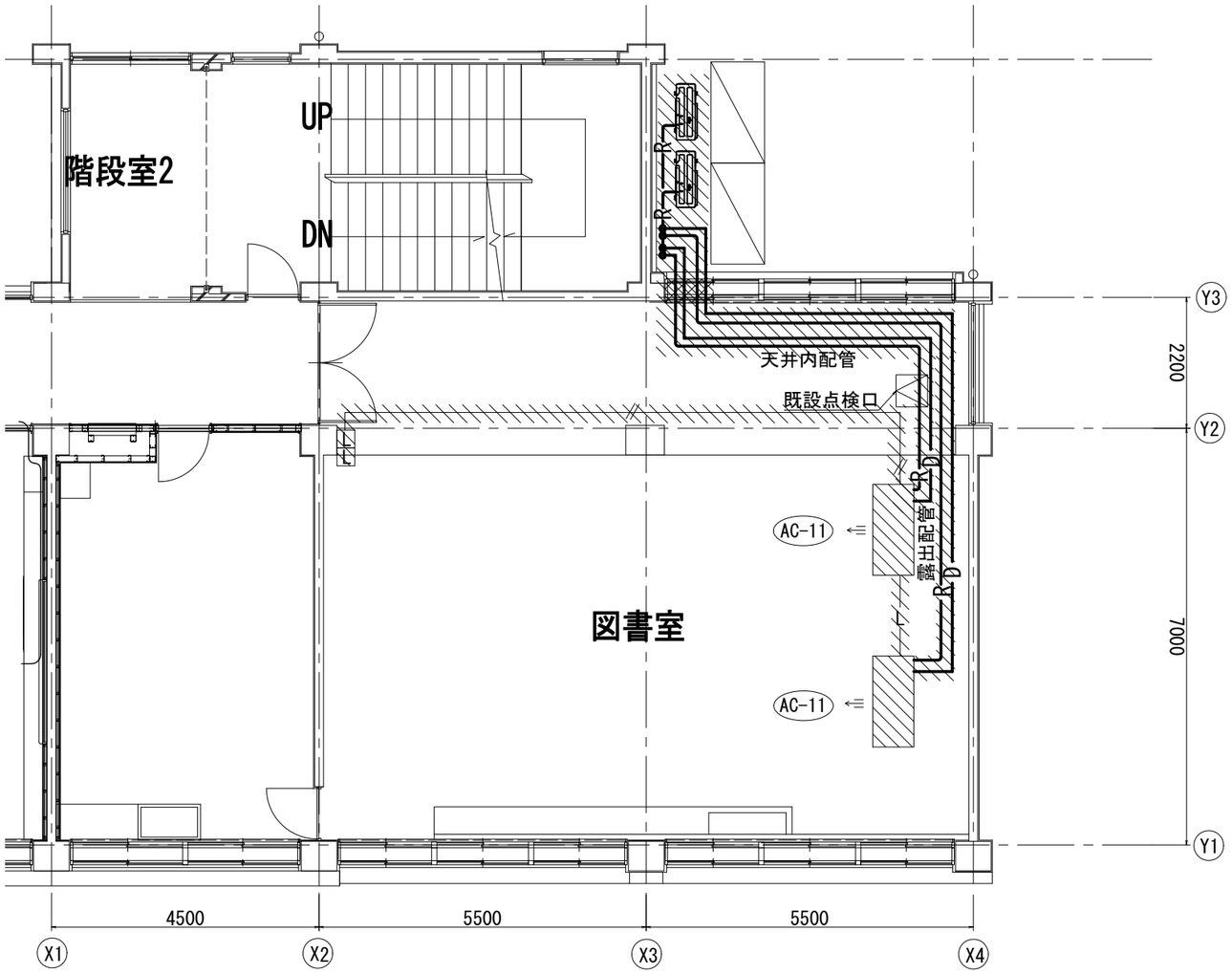


室内機設置要領



室外機設置要領図

件　名	北部放課後児童クラブほか２か所空調機備品の購入		
図面名			
作成年月日		変更年月日	
縮尺	1 : 100 No scale	図面番号	



3階平面図(既設) S=１:100

※注意事項※
既設の配管吊り金具、室内機固定金具は再利用可能な機材は撤去を行わないこと。

件　名	北部放課後児童クラブほか２か所空調機備品の購入		
図面名			
作成年月日		変更年月日	
縮尺	１：100	図面番号	

空気調和設備納入に係る注意事項

別　紙

仕様書記載の納入場所に納入する際、受注者は、「空気調和設備納入に係る注意事項」（以下「本注意事項」という。）を基に実施するものであり、その際に疑義等が生じた場合、受注者は速やかに発注者にその旨を報告し、誠意をもって善処方協議をすること。なお、本注意事項に記載のない事項が生じた場合。また、法令等により当然に行わなければならないとき。若しくは、発注者が必要と認めたものについては、受注者は契約金額の範囲内でこれを速やかに行わなければならない。

第１　空気調和設備機器の納入及びこれに伴う配管等に関すること。

１　受注者は、本注意事項を遵守し、空気調和設備の納入及び必要な配管類に関する一切を行う。

２　使用材料について

（１）空気調和設備

ア　室外機　仕様書に準ずる。

イ　室内機　仕様書に準ずる。

（２）配管類

ア　冷媒配管

断熱材被覆銅管

原則断熱厚：液管 10㎜ 以上・ガス管 20ｍｍ以上

イ　ドレン管

硬質塩化ビニル管（屋内配管は保温措置のこと）

３　機材納入について

（１）室内機

ア　室内が有効に冷暖房される位置を考慮し、施設管理者と十分な協議の上決定すること。

イ　天井材（下地材）及び天井スラブへの固定はせず、梁等強度上十分な箇所に取付け金物を介して堅固に固定すること。

（２）室外機

ア　納入場所は、周囲の安全を考慮すると共に、ショートサーキットが起こらない位置とすること。

イ　壁掛け固定又は上階スラブから吊り固定する場合は、専用の取付け金物（鋼製溶融亜鉛めっき仕上げ）を用いること。

ウ　壁掛けの場合は、室外機の転倒防止の措置を講じること。

エ　床置きの場合､専用の固定ブロックや据付架台(溶融亜鉛めっき仕上げ)を用いること。

オ　架台選定に際しては、地震や台風による転倒がないものとすること。

４　配管類納入について

（１）冷媒配管

ア　配管の支持材

冷媒配管を屋外に配管する場合の支持金物は､鋼製溶融亜鉛めっき仕上げ又はステンレス製のものを用いること。

イ　支持間隔

1.5m 以下とすること。

ウ　断熱材被覆銅管の配管外装

屋内で居室に露出する場合は、合成樹脂製カバー取付けとし、倉庫・機械室内に露出の場合は、非粘着テープ巻き仕上げとする。

屋外露出の場合は、ラッキング（溶融アルミニウム亜鉛鉄板巻き）又は屋外用樹脂ケースにて管の保護を行うこと。なお、外装内部に、雨水等の侵入を防止するための措置を必ず講ずること。

エ　冷媒配管完了後、設計圧力以上の圧力で気密試験を行い、24 時間放置し、漏れのないことを確認すること。完了後に実施すべき試験調整を行い、これらの結果について書面をもって　発注者に報告すること。

（２）ドレン管

ア　配管完了後、通水試験を行い、漏れ等のないことを確認すること。漏れ等を発見した際は、直ちに補修すること。

イ　支持間隔

１m 以下とすること。

５　配管ルートについて

（１）原則

屋内の冷媒配管等は、動線や作業を考慮して計画し、施工すること。

また、天井材（下地共）及び天井スラブに決して固定してはならず、梁など強度上、十分な箇所に固定すること。

（２）内外配管貫通について

ア　建具部を貫通する場合

冷媒管等が欄間等の建具を貫通する場合、ガラスをポリカーボネート板（耐火等建築物の要求がなく、貫通する建具に延焼のおそれがない場合に限る。）又はアルミパネル板に交換すること。その際は、貫通箇所に隙間が生じない措置を講ずること。

イ　外壁等を貫通場合

冷媒管の配管に伴い、梁、柱の貫通及び欠損は厳に禁ずる他、次のとおりとする。

（ア）貫通部にＶＵ又はＶＰ（硬質塩化ビニル管等）製のさや管を設け、屋外に向かって水勾配をとること。

（イ）雨水浸入防止の為、さや管が外壁の外側と接する部分は、その周囲をコーキングにて十分に止水を図ること。

（ウ）防火区画の貫通箇所は国土交通大臣認定の施工方法とし、箇所ごとに認定シールを貼付すること。

６　既設撤去処分について

（１）機器

業務用冷暖房機の処分は、廃棄物処理法を遵守し、適正に処分を行うこと。

ルームエアコン等は、家電リサイクル法に則り、適正に処分すること。

（２）フロンガスについて

フロン排出抑制法を遵守し、適切に回収し処分すること。

（３）既設配管について

冷媒管はすべて撤去のこと。

ドレン管は、特記ない限り撤去のこと。

第２　空気調和設備の搬入に伴う電気設備に関すること。

１　電源

（１）既設手元開閉器盤から室外機までの配管、配線を行う。

（２）手元開閉器盤及び室外機への電線管接続は、２種金属可とう電線管を使用する。

２　配管・配線

使用するケーブルは､原則としてエコケーブルを使用するものとし､その他､次のとおりとする。

（１）連絡線

冷媒管に共巻きとし､断熱被覆材の断面積を著しく損なわない程度に粘着テープにて連絡線を固定すること。

（２）リモコン用の配線

メーカー仕様に準じた配線とし、配管はメタルモール、メタルボックス（２個用）を使用すること。

３　その他

受注者は、空気調和設備納入に際し適用される法令、条例等を遵守する。諸官庁への手続きが必要な場合は、発注者に報告すること。

第３　全校共通注意事項

１　学校の天井裏にはアスベストがある可能性があるため､原則天井ボードはいじらないように、施工してください。

第４　その他留意事項

１　令和３年４月１日より施行された大気汚染防止法の改正法令を遵守すること。